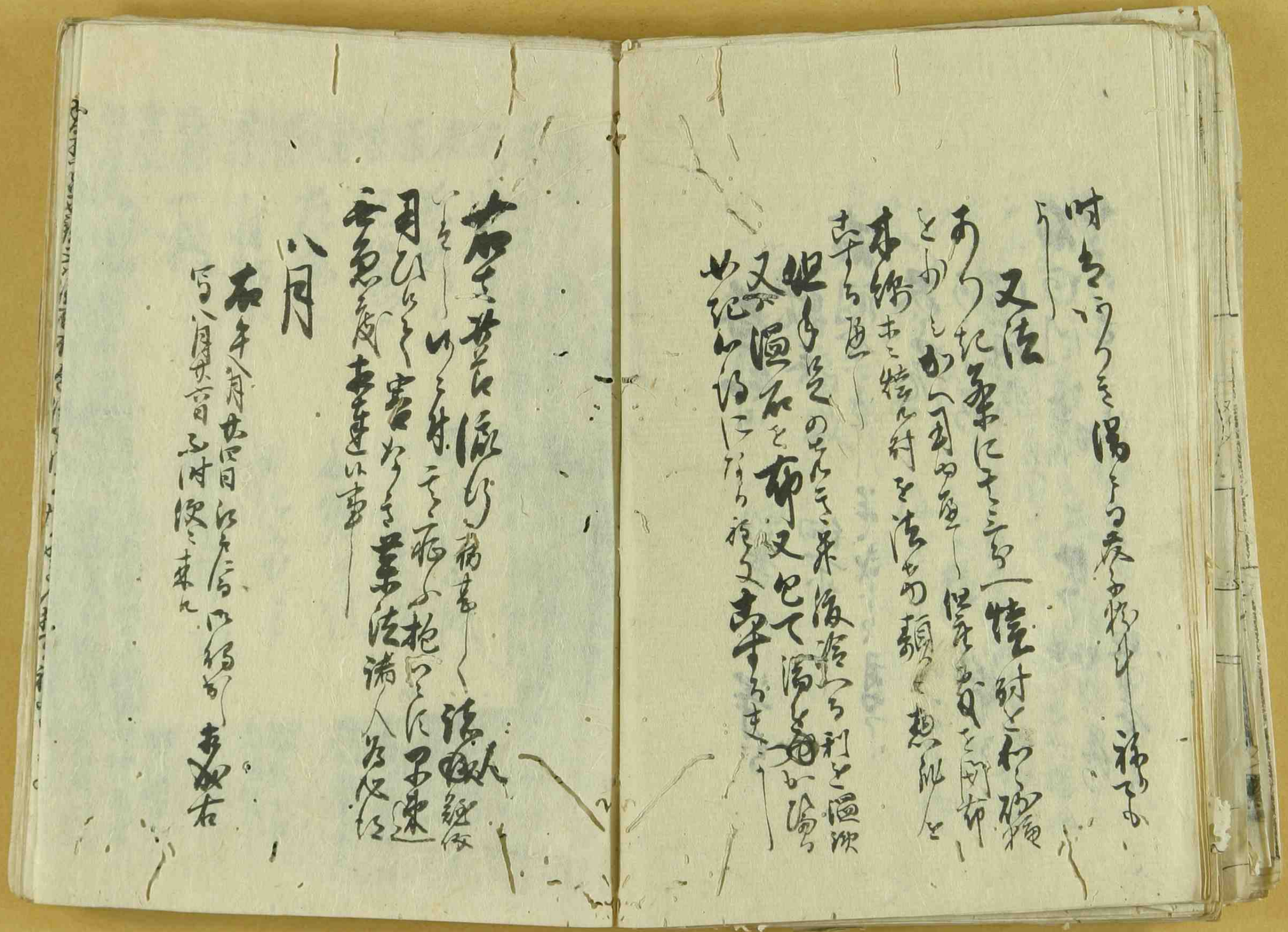
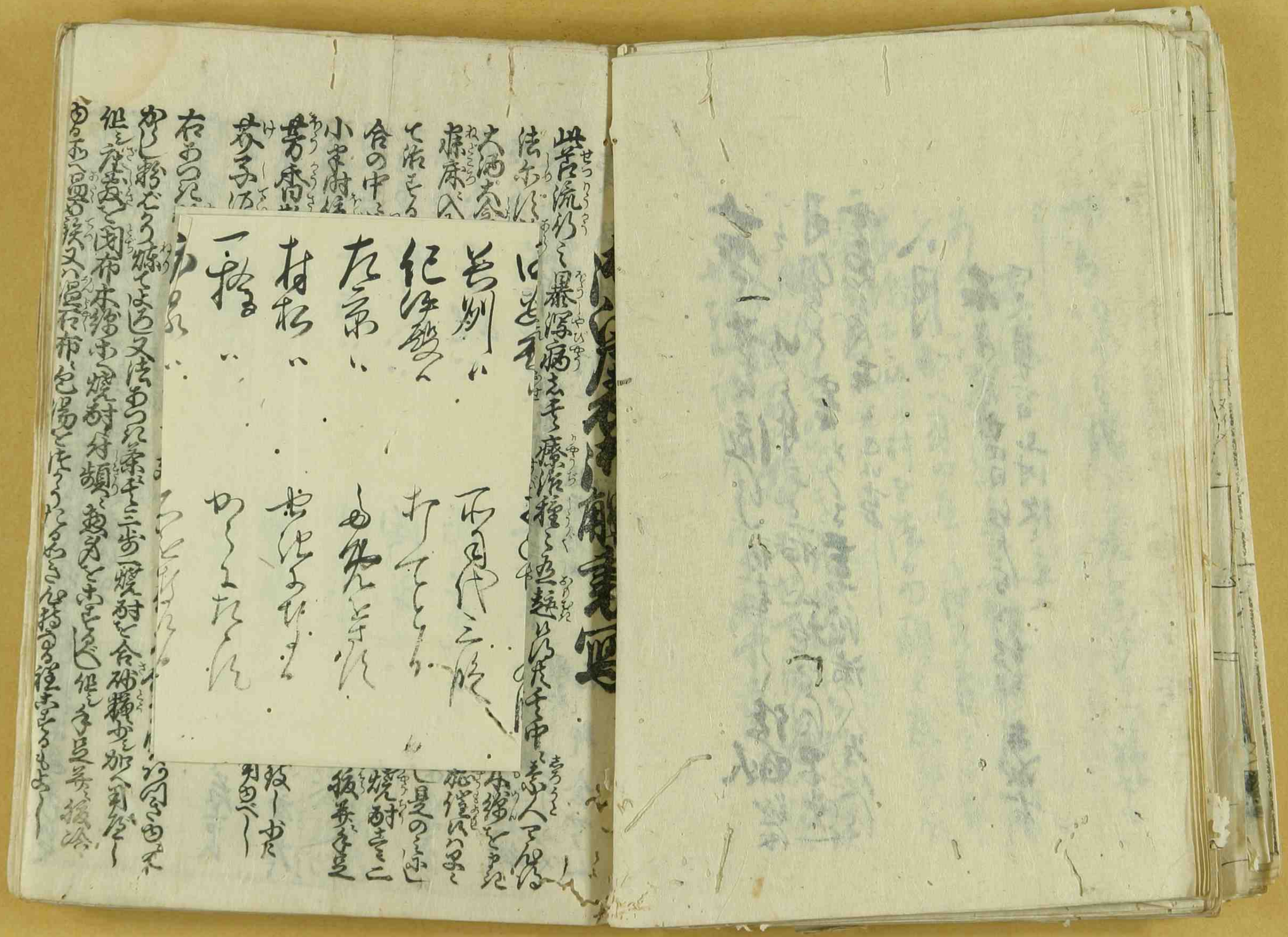


長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

腎虧薬方

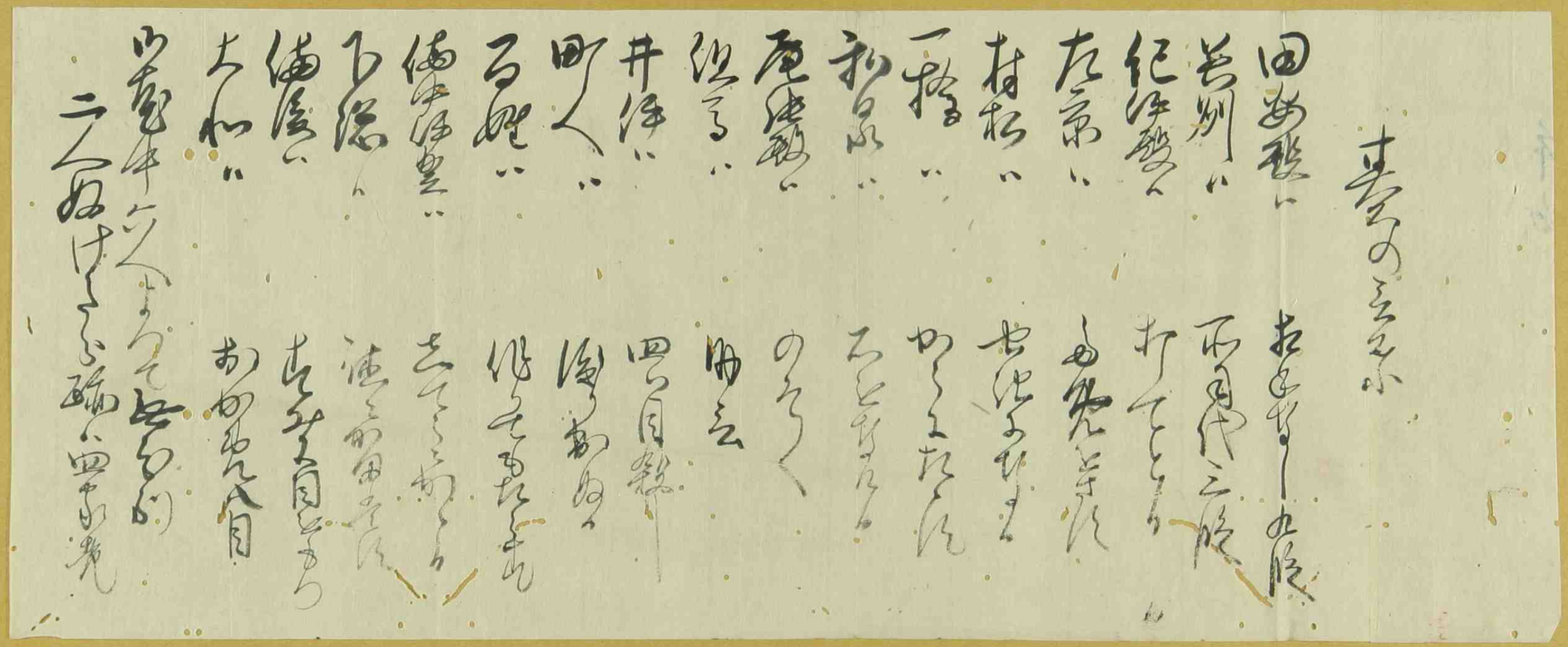
此苦流れ〳〵暴瀉病えキ〳〵療治種〳〵麹ハ千中に参入アル
法ホウ〳〵縁うゝの先と陽ぐゝい却ての名を冷ひとさく猿さ木綿をもて
大酒大食と怪〳〵キを外おきのれ紙き食物一切給ヤ名炭ハ名ハ
療床へ〳〵飲食と怪〳〵熱気温めた〳〵紀ハ芳香散と云薬用べし是の〳〵ホ
て治とる光おか〳〵ぶ是又吐瀉若炭熱気冷ゆる程〳〵ゆり出ハ焼酎きこ
食の中荒脳ニ武炭又ハ樟脳ニ武炭入温木綿切ニ浸て猿美子是
小ヤ附ケ〳〵変〳〵あさ人硬〳〵

芳香散 上品 桂枝 益智 乾姜 等分各末 右調合致し水ヅ変〳〵用ゆべし

麦子泥 かゝし粉 うどん粉 等分

右あつて練て強く煉木綿切〳〵延し強き物仕ハ名合ぐる時ハ湯ヲ
かし粉ぐろ煉てよろ又法あつて柔キ三歩一焼酎と合砂糖少し加へ用ゆ〳〵
但こ麦子と国布木綿ホ焼酎分頗〳〵熱気ヲ是美猿冷
ゆるホハ品ハ猿又ハ温石布包湯とたゝうたるわさひ持る程ホとるもよし

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

右之ごとく師流の病毒霊薬清人郷伝秘法を以て病ふ物を進呈ひいて
寄合の薬法徒人仏法の為志度れ違ひ

安政元年八月廿三日

御細書之趣承知御武義を様子被仰渡ひ
病うけざるやう
子尚寄生果

芳香散　日方夏人　代百廿四文　産中ん
一ふく　代廿四文

一唐桂枝　唐益智　かんきょう　各等分調合ーてかしづ煮こ
用ひ毒ハ内ともあつ血とあつ已合毒とけ腹中清らにてようの人体
海黄人より病もかるく水を理なれば毒ざ毒病の由人でもかつ清
成病毒殺時ハ度ぶ人用て外と二方ともよ毒用る事
在業ハ市ヨりの業座ふそ業猛吟味よめそ市物を出求よめ
在ゝ対方出の字ゝ一万枝ほどそ中ん

本家調合所　大坂京町堀小佐ヶ丁目　若狭屋正兵衛

右之ごとく節流行病甚敷流行ス病ふ拘ふ速効ひいて
寒冷之節

安政
在都鍋士
病うけ
子尚安
一唐桂
用ひ無ハ
海黄
成
在業
在分
本家

大阪京町堀壹丁目
本家調合所　若狭屋正義製

代四十文

時疫豫防法

薄羅沙又そうこん本称或ハそんたの類ヲ煎じて至夜とも
疫病に至ほどまさ置度し

一　椒小湯をいまこのらしの粉と五匁斗を其中に加えて
折く両脚の三里の穴まで浸すべし

一　家の内小何まても煙もの気なりて温気を保くべし

一　一切乃菓類を多く食ふべからず

同治法

此病とう市たりと知らば熱さ薬の中へ甚薬ハ
少ト気加えて服すべし
一　一度酎を入れ砂糖少ト気加えて服すべし
又座表気たてら発て風ふあたらぬようふたす

一生上羅紗のきれ又ハきんでも備附をはけて抱寄
居られる方なりくこゝもつてよし
但し手足又ハ腹なりとも人意気強き者願次
する所あらバ温鉄或ハ温石紙あつめ布に包み
て浴湯せしほどの心持ふなるまで摩擦べし
右之方法今度羽田沖に漂来の佛蘭西船中
醫人ゟの相伝なり

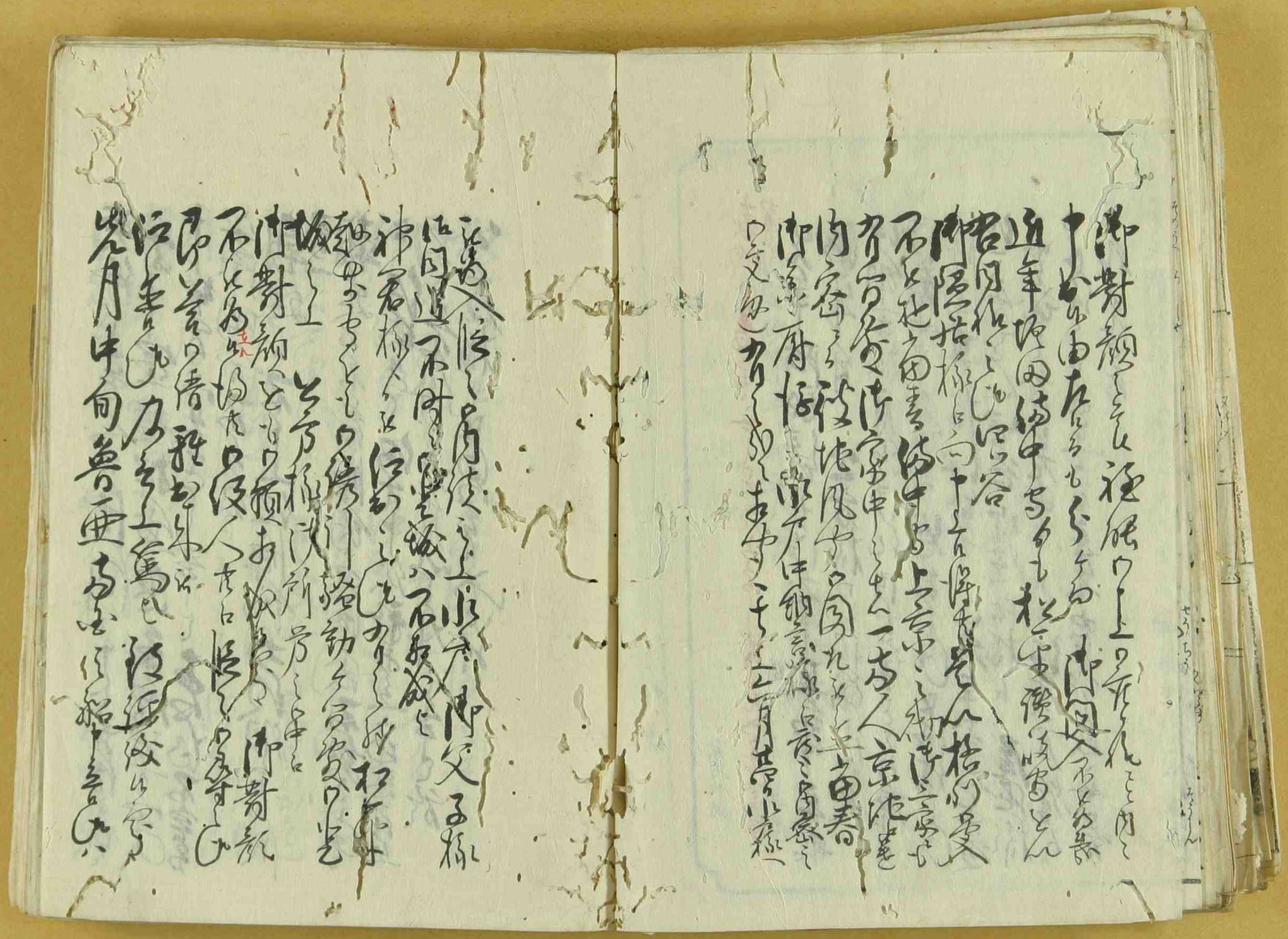
于時安政第五戊午年八月　岩瀬氏

臣某等謹誌

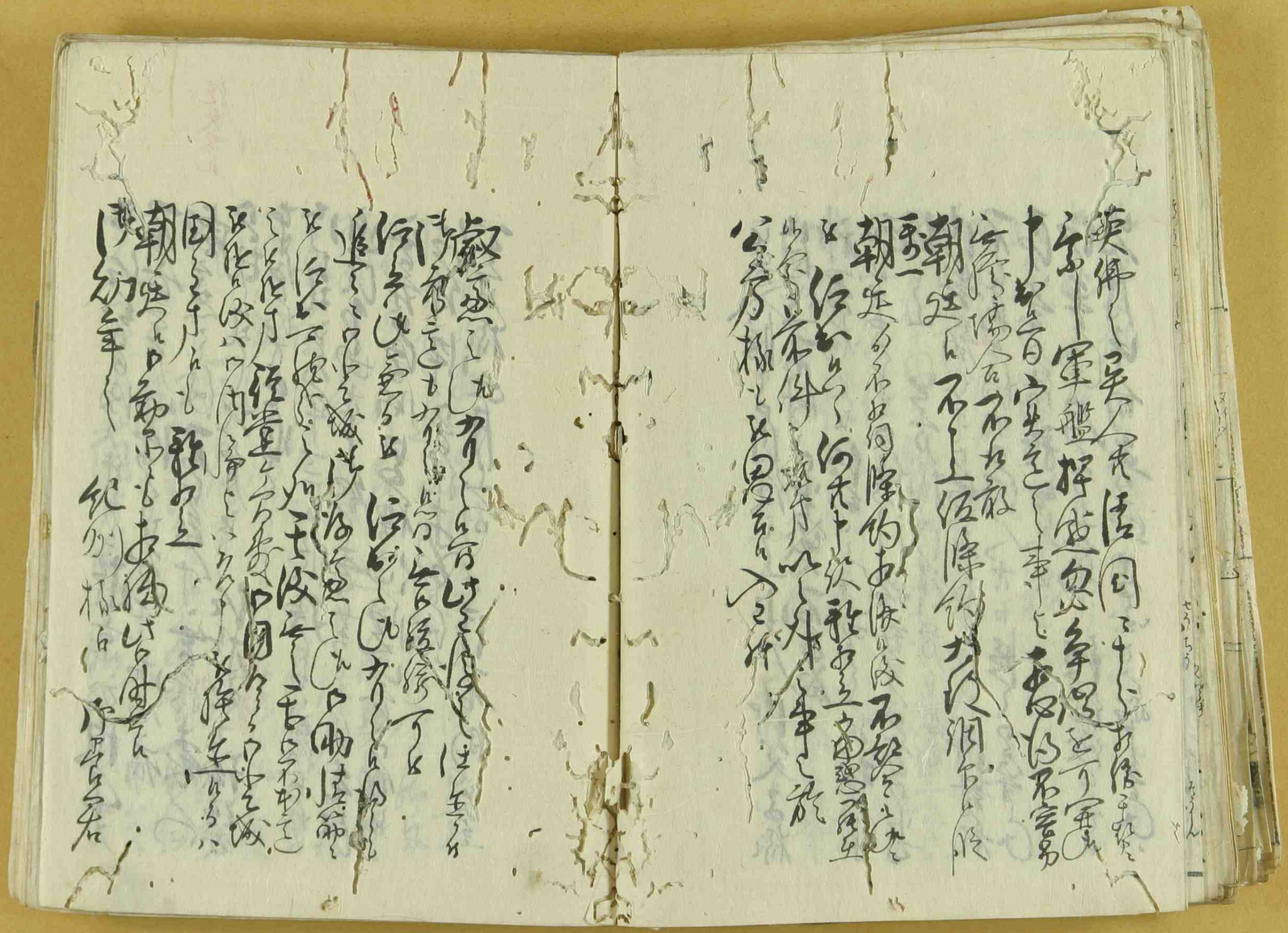
某氏印施

表紙に毒薬と書きて元来ゟ紙に包まれ又ハ袋に入

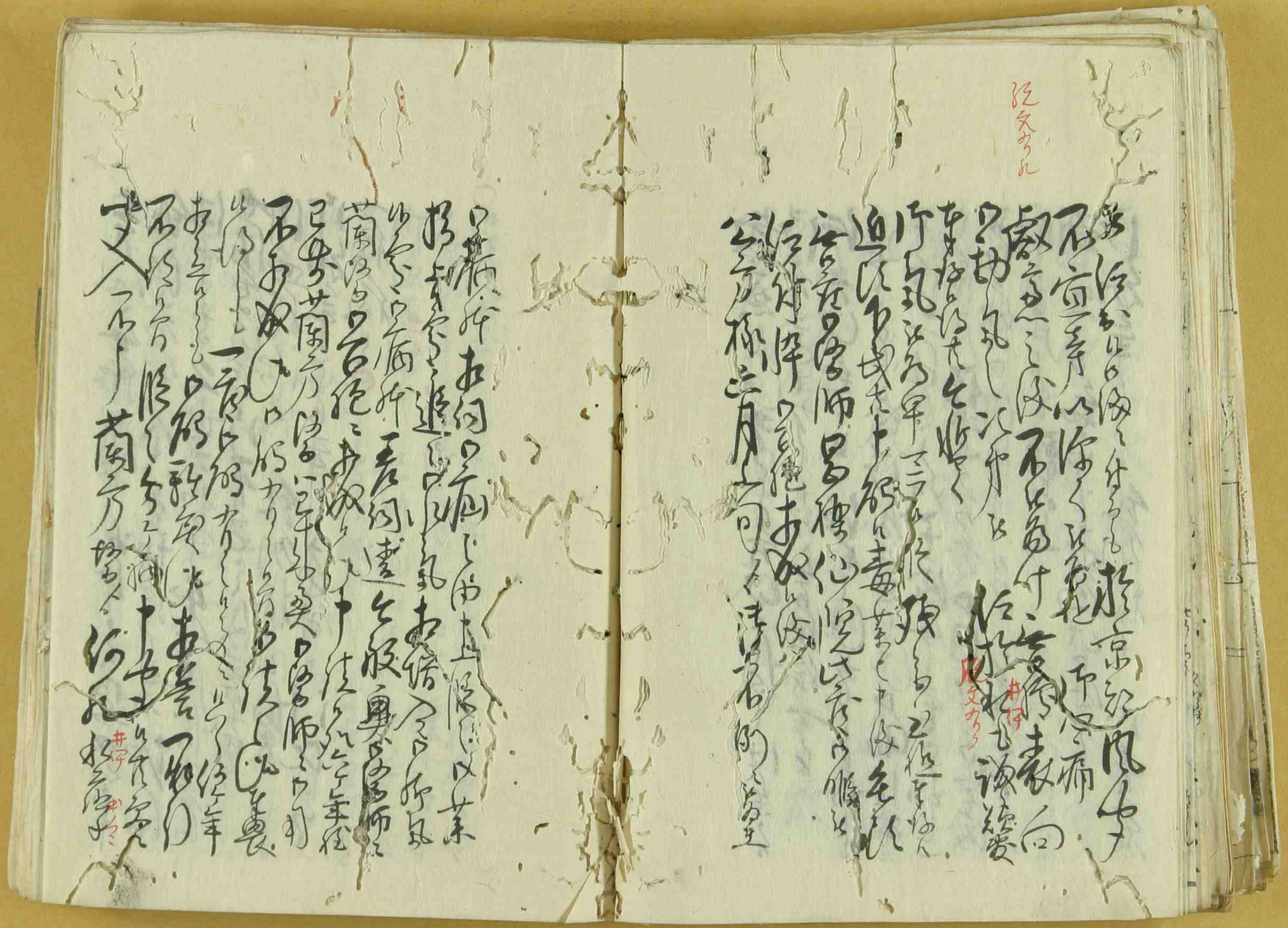
先年阿部伊勢守殿中に長崎表ゟ
漂来の船中
[illegible]方様ゟ拝領
仲明言様月次[illegible]
[illegible]中ゟ[illegible]
[illegible]其ゟ伊勢守殿
[illegible]
[illegible]
[illegible]



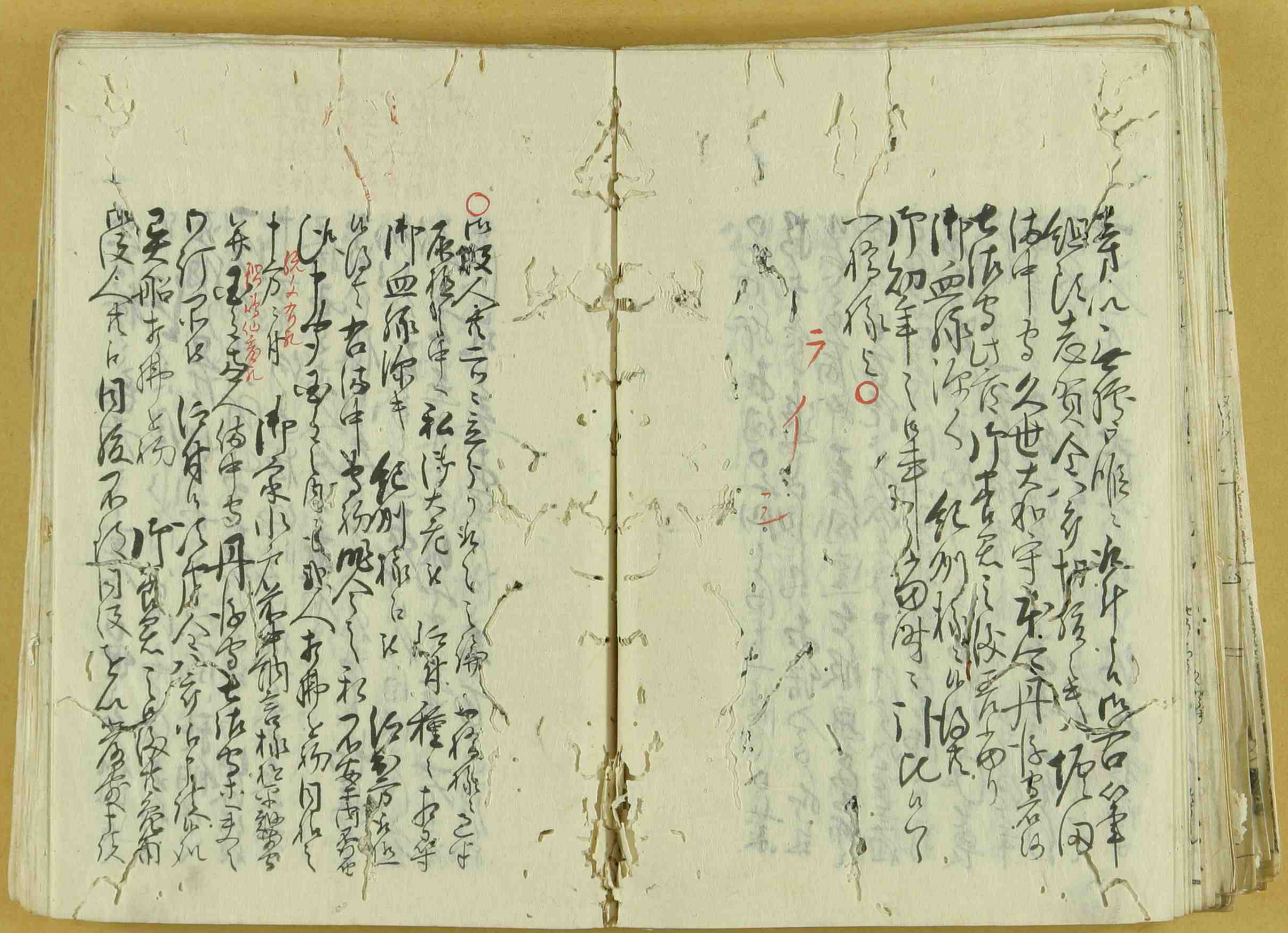
長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



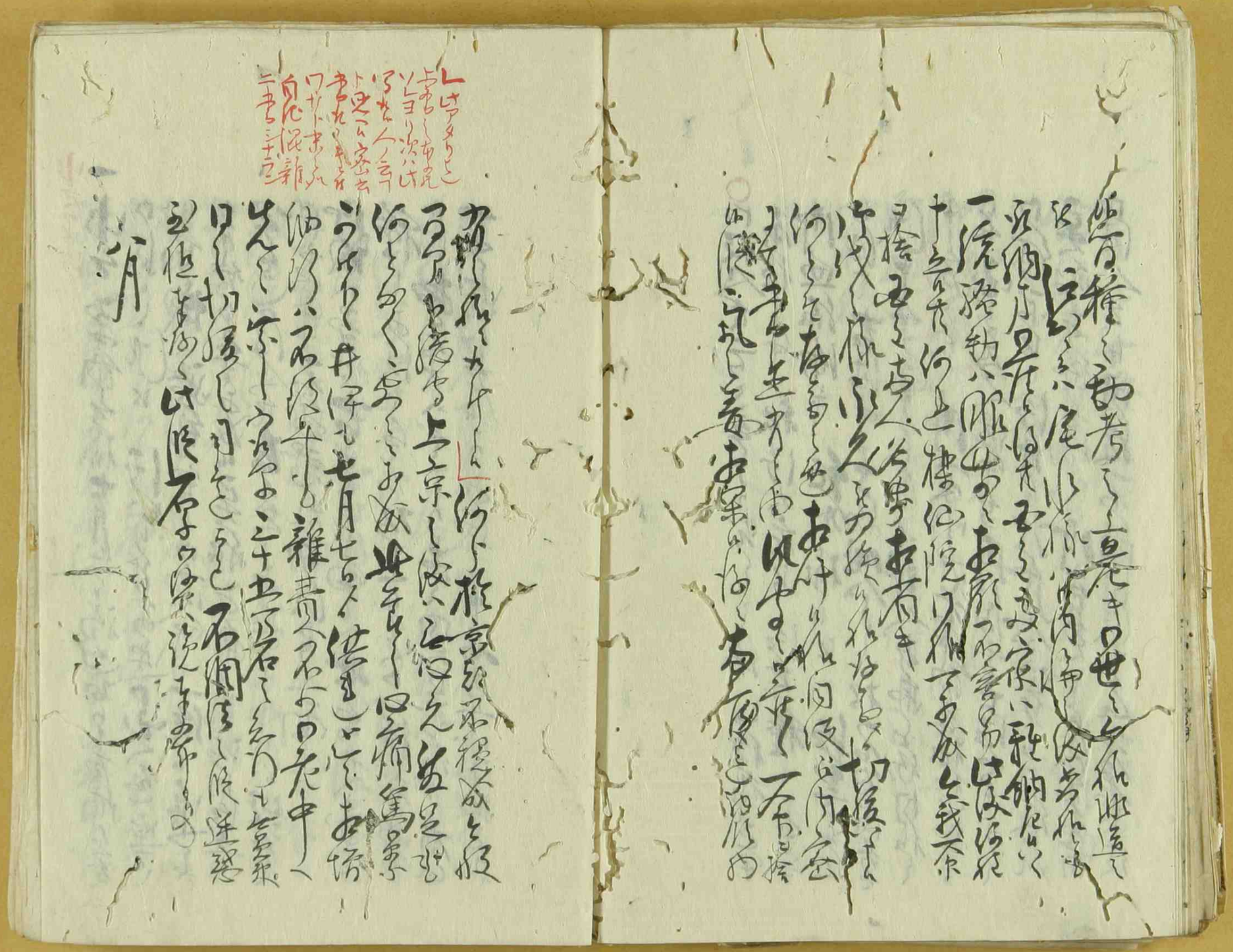
長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

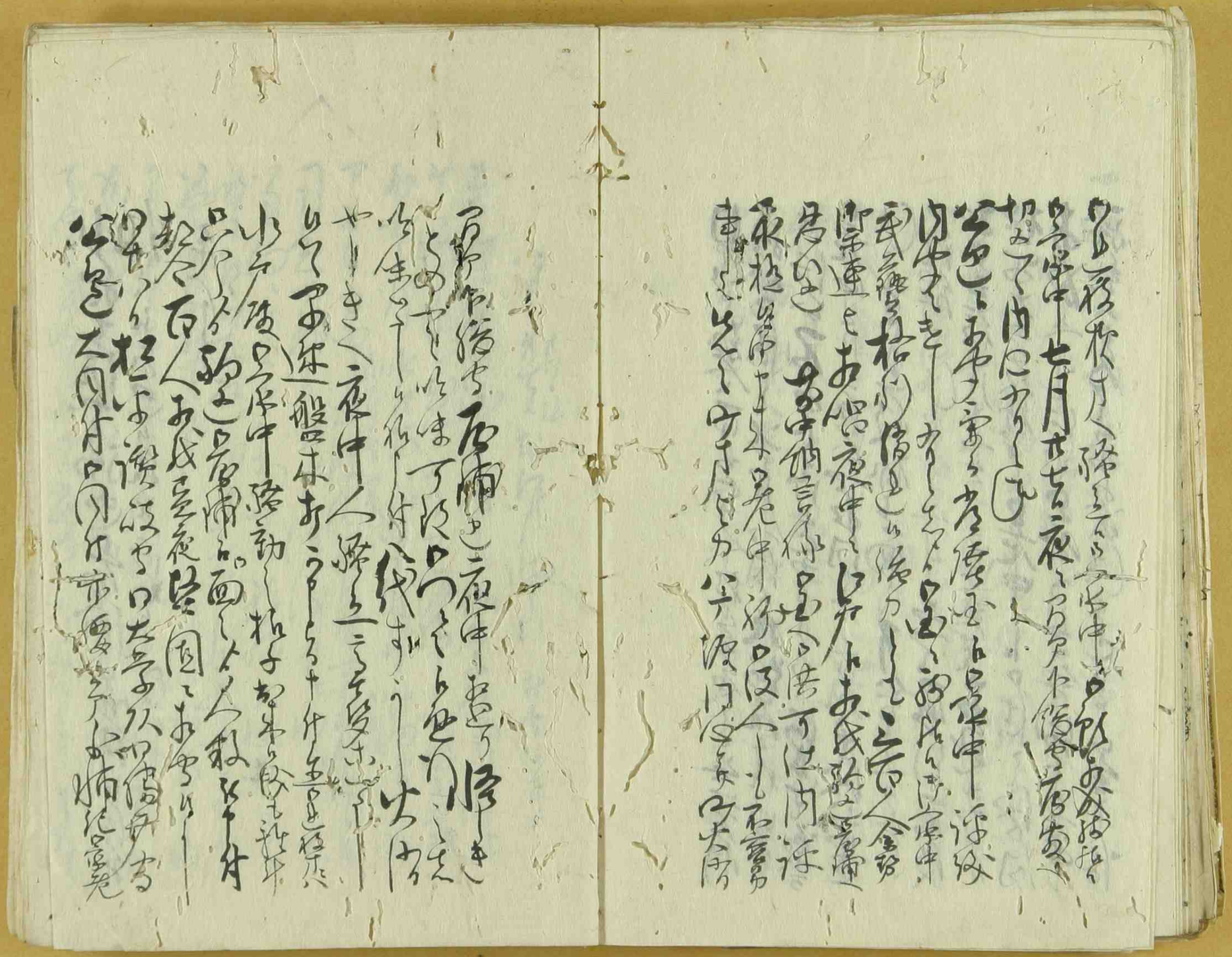


長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

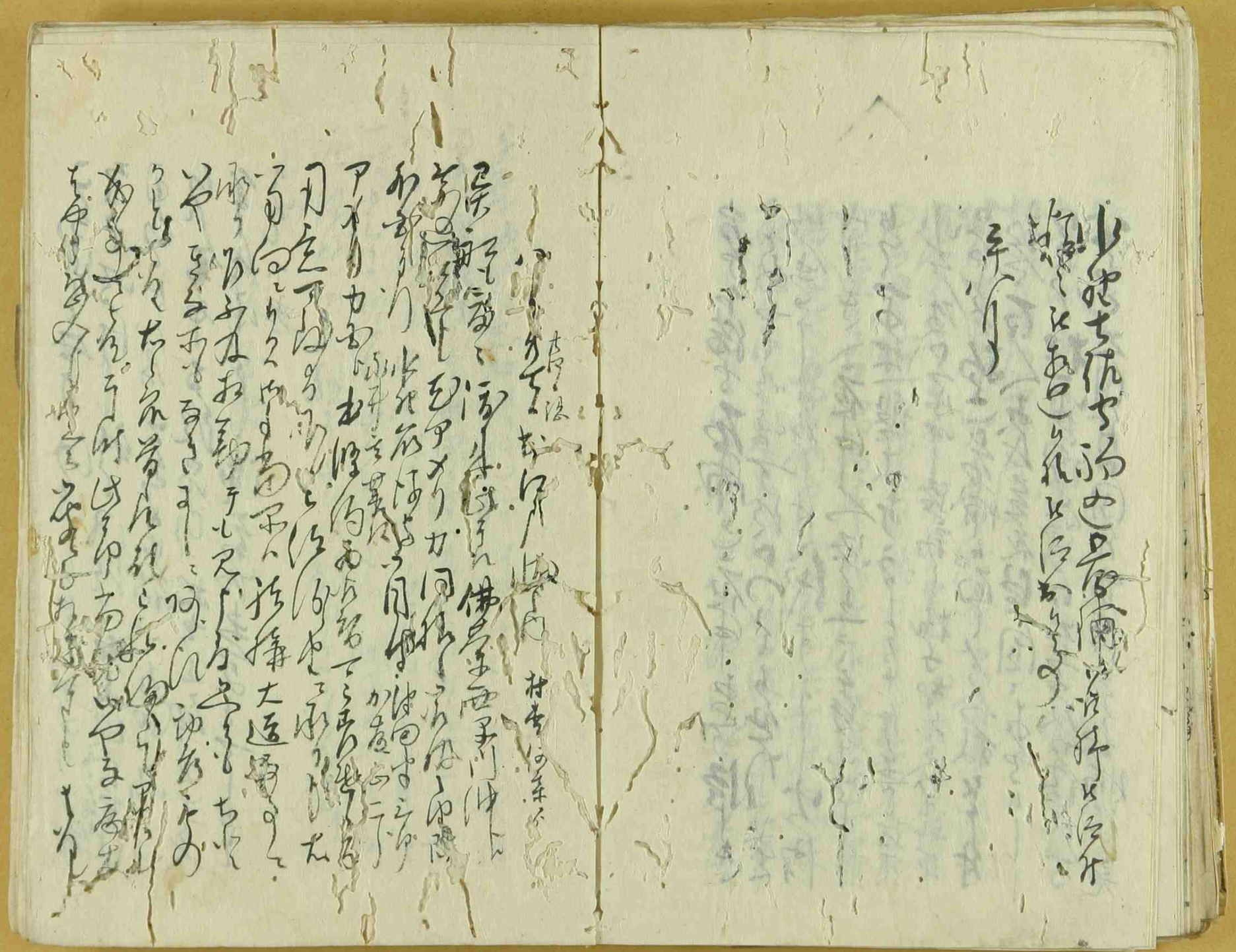


長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵